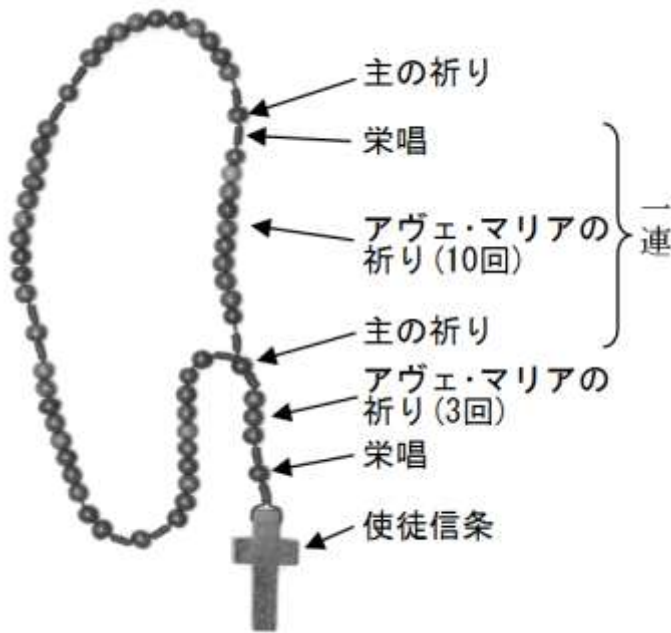


ロザリオの祈り



1. 喜びの玄義 (月と土)
2. 光の玄義 (木)
3. 苦しみの玄義 (火と金)
4. 栄えの玄義 (水と日)

十字架のしるし

父と子と聖霊のみ名によって。アーメン。

使徒信条

天地の創造主、全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。
主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、
十字架につけられて死に、葬られ、
陰府（よみ）に下り、三日目に死者のうちから復活し、
天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、
生者（せいしゃ）と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン。

主の祈り

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに 地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を 今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。
わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。アーメン

アヴェ・マリアの祈り

アヴェ、マリア、恵みに満ちた方、
主はあなたとともにおられます。
あなたは女のうちに祝福され、
ご胎内の御子イエスも祝福されています。
神の母聖マリア、わたしたち罪びとのために、
今も、死を迎える時も、お祈りください。アーメン。

栄唱

栄光は父と子と聖霊に。
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

☆ 喜びの玄義

第1 玄義 天使はイエスの誕生を告げる (ルカ 1:26~38)

マリアは大天使ガブリエルの受胎告知に、「私は主のはしため、お言葉の通りなりますように」と答え、聖霊によって御子受肉の神秘の実現を見る。

この一連をささげて、神に対する信頼の心を強めていただくように、聖母マリアの取次ぎを求めましょう。

第2 玄義 マリアはエリザベトを訪問される (ルカ 1:39~47)

マリアは大天使から、親戚のエリザベトが神の恵みによって子を宿したことを知り、ユダの山地にエリザベトを訪問する。

この一連をささげて、自分のことよりも、いつも喜んで他人に奉仕する愛の心を深めることが出来るように、聖母マリアの取次ぎを求めましょう。

第3 玄義 イエスはマリアからお生まれになる (ルカ 2:1~7)

聖霊の力によってマリアに宿られた神の御一人子は、月満ちて、みどり児となってこの世に誕生し、ベトレヘムの馬小屋のまぐさ桶の中におかれる。

この一連をささげて、神の御子が示した清貧の模範にならい、この世の富への執着から解放されるように、聖母マリアの取次ぎを求めましょう。

第4 玄義 イエスは神殿にささげられる (ルカ 2:21~24)

イエスの誕生後、おきてに従って、マリアの清めと初子の奉獻のため、マリアとヨゼフは御子を抱いて神殿にのぼる。

この一連をささげて、聖家族がモーセの律法の中に神の御旨を見出したように、日々の出来事を通して示される神の御旨を正しく見出すことが出来るように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

第5 玄義 両親はイエスを神殿で見つける (ルカ 2:41~50)

12歳のイエスは、両親から離れてひとり神殿に残られた。マリアとヨゼフは御子を探し求めて三日目に、神殿の中におられるのを見出す。

この一連をささげて、真の幸せはイエスと共にしかないことを悟る恵みを得ることが出来ますように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

☆ 光の玄義

第1 玄義 イエス、ヨルダン川で洗礼を受ける (マルコ 1:9-12)

イエスがヨルダン川で洗礼を受けられると、聖霊がくだり、「あなたはわたしの愛する子」という御父の声が聞こえました。

この一連をささげて、洗礼の恵みを神に感謝し、聖霊に導かれて、神の子として生きることが出来るよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

第2 玄義 イエス、カナの婚礼で最初のしるしを行う (ヨハネ 2:1-12)

イエスは、母マリアのとりなしに応え、カナの婚礼で水をぶどう酒に変えて、弟子たちの信じる心を開いてくださいました。

この一連をささげて、イエスへの信仰を深めることが出来るよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

第3 玄義 イエス、神の国の到来を告げ、人々を回心に招く (ルカ 4:14-21; マル 1:15)

イエスは、神の国の到来を告げ、人々を回心に招き、神のいつくしみを現してくださいました。

この一連をささげて、イエスの招きに応え、心から悔い改めて、福音を信じる事が出来るよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

第4 玄義 イエス、タボル山で栄光の姿を現す（マルコ 9：2-13）

イエスは、タボル山で三人の弟子たちに栄光の姿を現し、困難を乗り越える希望の光を示してくださいました。

この一連をささげて、主の変容を心に刻み、イエスに聞き従うことができるよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

第5 玄義 イエス、最後の晩さんで聖体の秘跡を制定する（マルコ 14：22-26）

イエスは、最後の晩さんで、救いのいけにえ、永遠のいのちの糧として、パンとぶどう酒を用いて聖体の秘跡を定め、人類に対する愛の記念を残してくださいました。

この一連をささげて、すべてを与え尽くされたイエスの愛に日々ならうことができるよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

☆ 苦しみの玄義

第一玄義 イエスはゲッセマネで苦しまれる（ルカ 22:39～46）

ゲッセマネの園でイエスは、迫り来る受難の前に血の汗を流すほどに苦しむが、あくまで父のみ旨の成就を祈る。

この一連をささげて、イエスのみ心をこれほどまでに苦しめた私たちの罪の深さを悟ることができるように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

第二玄義 イエスはむちで打たれる（ヨハネ 18:13～14）

イエスはポンシオ・ピラトの宮廷で残酷に鞭打たれたが、人々の救いのために。黙々と耐え忍ぶ。

この一連をささげて、私たちが受けねばならない苦しみを、罪の償いとして、ささげる勇気が与えられるように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

第三玄義 イエスはいばらの冠を受ける（ヨハネ 19:1-3）

兵士たちは、イエスをあざ笑っていばらの冠を、おしかぶせた。イエスは終始黙々として、この恐ろしい侮辱に耐える。

この一連をささげて、信仰のためには人々からの侮辱を恐れない勇気が与えられるように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

第四玄義 イエスは十字架をになって歩まれる（マルコ 15:20～27）

イエスは自ら十字架を担って、ゴルゴダを目指して歩み行く。

この一連をささげて、私たちの日々の十字架を、イエスと共に担う力が与えられるように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

第五玄義 イエスは十字架の上で亡くなられる（マルコ 15:29～32）

イエスは、私たちの罪のために、ご自分のいのちを御父にささげる。

この一連をささげて、私たちのために死んで下さったイエスのいけにえが、私たちにとって無駄にならず、救いの恵みに与るように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

☆ 栄えの玄義

第一玄義 イエスは死から復活される（マルコ 16:1～7）

イエスはしに打ち勝って復活し、わたしたちのために永遠の生命への道を開く。

この一連をささげて、わたしたちが、イエスの死にあやかることによって、その復活にもあやかることができるように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

第二玄義 イエスは父のもとにのぼられる (使徒行録 1:6~11)

復活した主は、四十日目に弟子たちの前で天に昇り、父の右の座につく。

この一連をささげて、わたしたちが、この世において神の国につらなるものとして生きることができるように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

第三玄義 イエスは父のもとから聖霊を送られる (使徒行録 2:1~4、32~41)

主の昇天後十日目、祈っていた使徒たちの上に、約束された聖霊がくだって、使徒たちを照らし、力づける。

この一連をささげて、弱い私たちが聖霊によって力づけられ、キリストの証人となることができるように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

第四玄義 マリアは身も心も天にあげられる

神は、御ひとり子の母マリアをこの地上に棄ておかず、その体を霊とともに、ご自分のもとに引き上げる。

この一連をささげて、わたしたちも、母マリアのように、この世のいのちを全うして、天に迎えられるように、マリアの取り次ぎを求めましょう。

第五玄義 マリアはイエスの栄光にあずかれる

天に上げられた母マリアを、神は天使と人類との元后として立てる。

この一連をささげて、わたしたちの母マリアに対して、子としての愛と尊敬を深め、ますますマリアに似たものとなることができるように、マリアの取り次ぎを求めましょう。